

けやき コミュニティ

ニュース

No. 90号(通算114号)

2008年5月15日発行

けやきコミュニティ協議会

武蔵野市吉祥寺北町5-6-19

TEL 0422-54-8719

<http://www.komisen.org/keyaki-c/>

第24回 住民総会が4月19日(土)に開催されました

ご挨拶

代表 島森和子

平成20年4月、新しい春と共にけやきコミュニティ協議会の運営委員(65名)が誕生しました。年々、1歩ずつ人との繋がりを大切にする事で、地域での輪も広がり始めてます。

就任にあたり住民総会でのご意見を踏まえつつ、更に他の地域団体との交流を深め、環境問題、防災問題等、地域の皆様と一緒に考えていきたいと思っています。又、地域の皆様に館を気持ち良く利用していただく為には、年間を通して、窓口研修等を行なっており、より良い運営を心がけていきたいと思ひます。

けやきコミュニティセンターホールにて14時~住民総会が開催されました。

2007年度活動報告・会計報告・監査報告に続いて2008年度活動方針・予算案について説明があり承認されました。そして今年度の運営委員・監査委員が決まりました。出席していた52名の地域の方々から様々なご意見や感想などが活発に出て充実した住民総会になりました。

その後引き続き、第1回運営委員会が行われました。



2008年度 活動方針

“けやき”のみどり豊かなこのまちを新しいふるさととして愛しみみんなで仲良くまちづくりをすすめます。

〈けやき憲章〉

- ☆ 赤ちゃんからお年寄りまで、誰もが立ち寄りたくなるまちづくりの拠点としてのセンターを目指します。
- ☆ けやきのよさを継承しながら、夢のある充実したまちづくりを目指し諸活動をすすめます。

けやきニュース90号紙面から

- 1面 住民総会が開催されました。
- 2面 特集けやきコミセンとパソコン
- 3面 まちづくり局紹介
- 4面 けやきまつり・ミニタウン
- 5面 コラム「ドラちゃん的眼」・若者たちの声
- 6面 けやきコミセン20周年特集

特集 けやきを パソコンで 楽しもう！



今回の特集は「パソコン」！ けやきのホームページはご覧になったことがありますか？これは運営委員が作っているんです。また、まちづくり局には「ぱそこん倶楽部」があり、皆で相談しながらパソコンスキルを高めています！

けやきコミセンホームページを覗こう！

けやきコミセンのホームページにアクセスしたことがありますか？ 実はとても内容が充実していて、コミセンの情報が一目で分かるようになっています。

まずトップページで最初に目に付くのが「今月のトピックス」。今、けやきで最もホットな情報が一目でわかります。さらに、その脇には「センター案内」やまちづくり局の各チームのページへ

の入り口があり、更新も頻繁に行われています。今年度ホームページのリーダーのAさんより「いつも新しい情報を提供していけるよう頑張りますので、見てくださいね！」とコメントを頂きました！ 更新、頑張ってください！

けやきコミセン URL・・・[http:// www.komisen.org/keyaki-c/index.htm](http://www.komisen.org/keyaki-c/index.htm)

*ヤフーやグーグルなどで「けやきコミセン」と打つと、最初に出てきます。

ぱそこん倶楽部でわいわいパソコン相談

まちづくり局の「ぱそこん倶楽部」はみんなでノートパソコンを持ち寄り、教えたり教えてもらったりしながら、パソコンの操作方法を高めあっていくという勉強会です。パソコン教室ではないので専任の講師もおらず、設備もありません。みんなで楽しく教え合っています。



これまで作ってきたものは「年賀状」「カレンダー」「ポストカード」「名刺」など。テキストはけやきコミセンホームページ「ぱそこん倶楽部」のページから誰でも見ることができます。

活動日は原則第3月曜日。今月の5月19日に13時30分より「ワードで作る名刺」の応用編を行います。前回欠席された方も参加できますので是非ともご参加下さい。

平成20年度運営委員・監査委員 紹介

- * 代表 島森 和子・中澤 幸子・富 秀子・高石 優・水谷 加奈子 *
- 芦田 敏武・芦田 佐久子・足立 春江・阿部 純子・新井 真紀・安藤 頌子・石井 清子・石川 博一・石山 裕太・市原 忠光・伊藤 昇吾・出井 佳子・宇田川 みち子・大竹 正輝・越智 礼子・風間 佑蔵・加藤 光樹・金井 元貴・金子 ゆたかこ・川崎 悦司・菅野 耕一・桑原 礼・栗村 真里・郡司 高直・小河内 順子・坂尾 玲士・清水 範男・杉本 晃子・杉山 大祐・鈴木 薫・関口 絢子・高田 昭彦・高橋 優子・高橋 良江・田中 千恵子・谷口 朝子・田村 武夫・千綿 澄子・土田 芳枝・寺島 芙美子・長澤 鏡子・長瀬 道子・似鳥 美恵子・長谷川 芳子・深野 譲治・古谷 由美子・水野 恒子・村井 智子・森 美仁子・森谷 君子・泰山 圭・山井 恵子・山本 清子・結城 怜・吉川 裕子・吉松 杉子・若園 文雄・渡部 誠子・渡辺 純夫・渡部 正子
- * 監査委員 高橋 豊・佐藤 清佳 *
- (計67名)

けやき まちづくり局

けやきまちづくり局とは、「いいまちをつくろう！」という思いのもと、結成されたチームの集まりです。世代を超えた人たちの参加で、地域の方々も含め人の輪がどんどん広がり、「人と人とのつながり」を感じられる素敵な場となっています。

からだほぐしとお食事の会	軽くからだをほぐして、季節の手作り料理と一緒に食べ、イベントを楽しんでふれあいを広げています。	けやき 囲碁のつどい	原則、毎月第2日曜日午後1時から1階ホールで開催しています。囲碁愛好家が集まって和やかに楽しく自由対局しています。最近では女性の姿もちらほら…花を添えています。
子育て 井戸端会議 	“子育て中のママ達にリフレッシュの時と仲間作りの場を”モットーに様々なプチ幸せ探しを続行中！只今メンバー募集中。	ばそこん 倶楽部 	次回の予定は5月19日(月)13時30分より、「ワードでおしゃれな名刺を作ろうー応用編」を行います。応用編ですが、前回欠席した方も大丈夫です。
まちの中の 美術館 	私たちのまちに住む素敵な人、持っている素敵なもの、素敵な庭、自然や彫刻など「たくさんすてきに出会いたい」そして出会いの中で生まれる人の輪が、仲間づくり、まちづくりにつながっていく・・・そんな想いで活動するグループです。これからは様々な企画でまちづくりを呼びかけていきたいと思っています。	けやき ガーデナーズ 	毎週月曜日午前中に花壇のお手入れ、種まきを行っています。花づくりを通してコミュニティの広がりを願っています。
けやき あそび隊	“大人も子供も一緒に楽しもう！”をモットーに年間を通して様々なイベントをやっています。一緒に楽しい企画をしませんか？	エト研究会	地域通貨“エト”は、ありがたいの感謝のしるしです。エト券が、けやきからあなたへあなたから次の感謝に手渡されていくことを願って発行しています。
風と歩こう	第2火曜朝のウォーキングと第1、3火曜夜のナイトウォークを実施。健康と町の安全を考えつつ自然を楽しみます。	あっとおどろく エコクラブ 	5月11日に「ストップ温暖化」としてアル・ゴア「不都合な真実」を上映しました。6月8日「家庭でできる省エネ」を行います
けやき茶社 	毎月第3土曜日2時～4時開店。男たちのカフェでサイフォンコーヒーが楽しめます。	よみきかせ 紙ふうせん	毎月第4土曜日11時～12時まで。絵本のよみきかせと紙しばい、折り紙遊びをしています。スタッフ募集中！



オープンガーデン ～けやきガーデナーズ 2008. 4. 21

けやきガーデンに咲く、あふれるばかりの春の花の中オープンガーデンを開催しました。土づくりの講習もあり、ミニフラワーアレンジメントの作成では思いおもしろい作品が出来、皆大満足でした。ハーブティーや手作りのお菓子のおもてなしもあり春のひと時を大いに楽しみました。



第26回 けやきまつり

6月1日(日) 10時～15時 雨天決行 “ 広げよう こんにちはの輪 ”

26回目となるけやきまつり、今年のテーマは“広げよう こんにちはの輪”です。お祭りを通して地域の顔見知りを増やし、たくさんの方々と“挨拶を交わせるまち”にしていけたらと思っています。

当日は、恒例のけやきカレー、焼きそば、フランクフルト、花市、パザー(18日より提供品募集：詳細は市報にて)、フリーマーケットの他、けやき特製石釜ピザ等ご期待ください。5丁目町内会の協力でもちつきもあります。

さらに、地域通貨「エト」で交換できる、古本市・古せともの市も開催します。

誰かに読んでもらいたい古本、使ってもらいたい古せとものを持ってくと「エト」をもらうことができます。18日(日)より受け付けていますので、コミセン窓口までお持ちください。当日も受付ます。皆さん、是非お越し下さい！(M)

無事終了しました！

3月29日・30日

第2回 子どもがつくるまち
むさしのミニタウン

於 大野田小学校

3月29日(土)・30日(日)の両日に行われた『第2回むさしのミニタウン』は、述べ1200人の子どもたちでまちがつけられました。子どもたちで構成される実行委員会では、“もっとまちらしくしたい！”と、約1年かけてまちを考えるワークショップなどを積み重ね、準備をしてきました。

ミニタウン1日目、早くから来てくれて、入場を待つ列ができました。2日目、リピーターの子供たちは入場と同時に職安へ向かって走り出して行きました。また、市民になった子どもたちは、とても真剣に、また楽しそうに生き生きとした姿をみせていました。

無事終了できましたのも、学校をはじめ、ご近所の皆さまのご理解やご協力、様々な形の協賛(個人・団体・企業)、お力添えのお陰と心から感謝いたしております。

(子どもの参画をすすめる会・村井智子)



入場を待つ子供達の列



生地から作った本格石釜ピザ



新聞社の取材を受ける市長

ドラちゃん的眼

成蹊大学の学生たちと武蔵野市を研究しているドラちゃんが、今、このまちで起っていることを皆さんにお伝えします。

【大学・聴講生の勧め】地域の皆さんが大学の聴講生になれることをご存知ですか？

自由大学（武蔵野地域の5大学）の聴講生なら半期1コマ1.5万円（武蔵野市から1万円の補助）、成蹊大学に直接申し込む一般聴講生の場合は半期1コマ2万円で、大学の講義を聴くことができます。僕の場合、「現代の環境問題」に5人、「現代社会論」に2の方が聴講されています。聴講生の方は人生経験豊かでしかも勉学の意欲もある、従って学生にとっては模範となる教材そのものです。また聴講生ご自身も年代の違う若い学生たちと直接話しや議論をしたいという気持ちをお持ちです。そこで僕の授業では、聴講生と学生と一緒に勉学できるように班分けをしています。論文を読み問題を提起しその回答を考えるという作業を、学生と一緒にやってもらっています。

来る6月5日(木)には学生たちとのコンパも予定しています。地域の皆さん、どんどん大学の中に入って新しい世界を拓いてください。

春は別れと出会いの季節…。というわけで、今年も多くの方が、このけやきコミュニティセンターの運営委員に加わりました。ここでは、けやきの力になるであろう若者(大学生)の声を取り上げてみました。 ※全員には聞けませんでしたのでご了承下さい。

今年から運営委員に入ったので、まだわからないこともありますが、少しでも役に立てるように頑張ります。(関口)

まだけやきのコミセンの事は右も左

けやきと新くつ参加者の声

もわかりませんが、みんなの足を引っ張らないようにしたいです。(伊藤)

よりよいけやきコミセンづくりの力になれるように精一杯がんばりますので、よろしくお願いします。(桑原)

第一回運営委員会に参加させて頂いた時に、失われつつある人と人との絆がけやきではとても大事にされていると感じました。願わくば僕もその輪の中に入れて頂けるように努力したいです。宜しくお願いします。(加藤)

編集後記

来年はけやきコミセン20周年を迎えます。そこで今年度のけやきニュースは、この20周年を全面的に大フィーチャー！ よりパワーアップしてコミセンやこの地域の情報をお届けしていきます。(K)

【今年度けやきニュース新人記者たちの叫び！！】

- ・ けやきニュースの係は初めてですが、自分の4年間を今の2年生に伝えられるように、いつも通り頑張りたいと思います。(Y)
- ・ 今年からけやきコミュニティセンターに参加させて頂くことになった石山です。役職はニュース係なのですが、わからないことも多々あります。しかし積極的に参加してお手伝いしようと思いますので宜しくお願いします。(I)



けやきの 五月の空に 鯉のぼり

けやきコミセンは来年で開館20年！

けやきコミュニティセンター 20周年特集



2009年12月で開館20周年を迎えるけやきコミュニティセンター。1989年の開館以来、この地域のお茶の間として、多くの人に愛されてきました。

今年度の「けやきニュース」では、けやきコミセン20周年を迎えるにあたり、通年で特集を組み、けやきコミセンの20年を振り返っていきます。

第一回◆けやきの「記念誌」

今回のテーマは「記念誌」です。

けやきコミセンがこれまで発行してきた記念誌は3冊。開館5周年記念（1994年）に発行された『けやき並木につづく道』、開館10周年記念（1999年）に発行された『まちをつくる 新しい結びつき・けやきの10年』と『出会い・再発見—いいまち創る『出会いの広場』—』です。ちなみに最後の『出会い・再発見』は開館10周年の翌年となる2000年4月の発行となっています。

『けやき並木につづく道』は1994年12月16日に発行され、けやきコミュニティの前史から誕生、センター建設までの7年、そしてその後5年間の激動の時期を記している、まさに歴史を学ぶにはうってつけの本です。編集はけやき学舎。189ページにも及ぶ重厚な本で装丁も凝っています。

この「けやきニュース」の前身となる「けやきコミュニティニュース」についても詳しく記述されており、第1号が発行されたのは1982年6月。当時の名称は「中央北・大野田学区コミュニティセンター情報」でした。当初の発行部数は1300部。全戸配布のもとに、着実に地域に浸透していきました。その後、「けやきコミュニティニュース」に改称。開館時の発行部数は3000部だったそうです。（『けやき並木につづく道』P78参照）

続いて、10周年時に制作された『まちをつくる』『出会い・再発見』。前者は運営委員や協力員をはじめ、「けやき」関係者へのインタビュー集となっています。コミセン運営の秘密や、けやきやまちへの想いが存分に語られています。後者の『出会い・再発見』は10周年を記念して企画された「出会いの広場」の報告書と資料集となっています。ちなみに、ここでは「出会い」と書いて「コミュニティ」と読みます。

「出会いの広場」はコミセン利用者グループ同士や、利用者とけやきの共同企画、利用者グループによる展示会やシンポジウム「出会いの広場」を開催した1ヶ月以上にわたるイベントです。

読む人によって懐かしかったり、新鮮な気持ちになったりするでしょう。ご興味のある方はけやきコミセンの窓口にお問い合わせみてください。

もうすぐけやきは20年。この先、どんなワクワクが待っているのでしょうか。（K）



『けやき並木につづく道』



10周年で作られた2冊の記念誌